

# 岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter

vol.7 (2023.9)

小児の一次救命処置の勉強会を救命救急科の先生にいただきました。

## ○事故防止の重要性…

- ・「不慮の事故」は小児死亡原因の上位
- ・最も多いのは「窒息」  
➡食物誤嚥による気道閉塞の70%以上は4歳以下
- ・未就学児の交通事故による死亡・重症の半数以上は歩行中に起きている

## ○異変に気付いたら…

- ・肩や足の裏をたたいたり、声をかけて反応を確認する。  
(子どもは足の裏をたたく)
- ・反応がない場合や判断に迷う場合は心停止の可能性を考える。

## ○心停止の判断…

- ・心臓が止まると普段通りの呼吸がなくなる
  - ・上半身を見て、10秒以内で胸や服の動きを観察する
- 呼吸をしていない ← 普段通りの呼吸をしている  
← 普段通りの呼吸ではない

**心停止と考えると胸骨圧迫を開始**      **観察を続けながら様子を見る**

## ○心肺蘇生=胸骨圧迫+人工呼吸…

胸骨圧迫と人工呼吸を行い、心臓や脳に血液を送り続ける

AEDの効果高めたり、心拍再開後の後遺症を少なくする  
(※小児ではできる限り人工呼吸もあわせた心肺蘇生を行うことが望ましい)

## ○胸骨圧迫の方法…

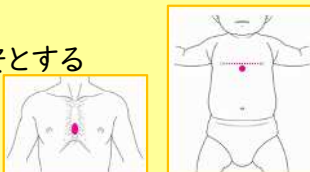
□部位:胸の真ん中(胸骨の下半分)

乳児の場合は両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安とする

□方法:【小児】手のひらの付け根で、垂直に押す

【乳児】(一人の時)2本指で押す

(二人の時)胸全体を両手で包み込み、両親指で押す



□深さとテンポ:胸の厚みの1/3以上沈み込むように強く、早く、絶え間なく1分間に100~120回(アンパンマンのマーチ)

## ○AEDってどうやって使う?…

- 1.電源をいれる  
音声メッセージなどに従って操作する
- 2.電極パッドを貼り付ける  
小児用(0歳~未就学児)がなければ成人用を用いる(胸が濡れている場合は拭いてから貼り付ける)
- 3.心電図の解析  
電極パッドが貼られると、AEDが自動的に感知して、「体から離れてください」などのメッセージとともに心電図の解析を始める
- 4.電気ショック (2分おきに自動的に解析を繰り返す)  
・電気ショックが必要な場合  
「ショックが必要です」→自動的に充電される  
「ボタンを押してください」→必ず体から離れ、周囲も離れていることを確認してからボタンを押す  
ショックを行った後は直ちに心肺蘇生を再開する  
・電気ショックが不要ない場合  
「ショックは不要です」→心肺蘇生を再開する



## 利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜~金曜日 午前8時00分~午後5時30分まで

## お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階  
ますかっと病児保育ルーム  
TEL 086-235-7301

